

平成30年7月6日

## ようこそ サン・チャイルド ～ふくしまに来た光の子「サン・チャイルド」～

東日本大震災を受け、再生・復興に向けて立ち上がる人々へ夢と勇気を贈り続ける希望のモニュメントとして現代美術作家 ヤノベ ケンジ 氏により制作された「サン・チャイルド」を 一般財団法人ふくしま未来研究会 代表理事 佐藤勝三 氏 より目録で贈呈いただきました。

### 記

#### 1 寄付贈呈式

- ①日 時 平成30年7月6日（金）午前9時30分～午前9時40分
- ②場 所 市長応接室

#### 2 設置予定場所等

- ①設置場所 こむこむ館敷地内
- ②設置時期 平成30年8月上旬

#### 3 愛称募集

- ①募集期間 7月14日（土）～8月19日（日）
  - ②申込方法 市内の各学校に送付する専用ハガキ（こむこむ館にも備え付け）にて
  - ③受 付 こむこむ館
- ※こむこむ館へ持参された方には、ヤノベ氏オリジナル缶バッジプレゼント

#### 4 設置イメージ



## 5 現代美術作家 ヤノベ ケンジ 氏 の経歴

- 1991年 京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。
- 1990年 アートスペース虹（京都）にて、生理的食塩水を入れたタンクの中に鑑賞者が実際に入って瞑想することができる作品《タンキング・マシーン》を発表し、第1回キリンコンテンポラリーアワード最優秀作品賞を受賞。以後、現代社会における「サヴァイヴアル」をテーマに、実機能をもつ機械彫刻作品を数多く制作。ユーモラスな形態に社会性のあるメッセージを込めた作品群は国内外から評価が高い。
- 1994年 活動拠点をベルリンに移す。
- 1997年 自作の放射線を検知する防護服を着て、原発事故後のチェルノブイリなどを探訪する《アトムスーツ・プロジェクト》を開始。1998年に帰国。
- 2002年 磯崎新との二人展「EXPOSE2002」に参加。
- 2005年 金沢21世紀美術館のオープニングに合わせて半年間の滞在制作「子供都市計画」を実施。
- 2008年 京都造形芸術大学ウルトラファクトリーのディレクターに就任、実践型教育を開始する。

## 6 作品紹介

### 《サン・チャイルド》

放射能の心配のない世界を取り戻した未来の姿を表した子供像。放射能防護服は着ているが、胸のガイガーカウンターがゼロになっていることがそれを示している。

2011年10月、大阪の万博記念公園で公開、その後東京の岡本太郎記念館、第五福竜丸展示館、モスクワ、イスラエルなど、国内外で巡回展示された。2012年には故郷の大阪府茨木市に恒久設置される。

2012年8月、「福島現代美術ビエンナーレ2012」に招聘され、福島空港で展示した。2013年、震災以降の世界をテーマに開催された国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2013」のメインビジュアルとして展示される。

素材：FRP、鉄、ネオン、ほか

### 《サン・シスター》

1995年の阪神淡路大震災のモニュメントとして構想され、20年目の節目にあたる2015年に制作された。災害による苦難の日々を過ごしてきた人々の過去を想い、乗り越えてきた現在や希望あふれる未来を見守り続ける存在となるよう願いが込められている。

2014年にプロトタイプが制作、京都文化博物館別館で展示、その後、武蔵野美術大学で行われた「オオハラコンテンポラリー・アット・ムサビ」展に出品、さらに「福島現代美術ビエンナーレ2014」において喜多方市の石蔵で展示され、兵庫県立美術館に恒久設置された。

### 《フローラ》

2015年の「琳派400年祭」の一環として、京都府立植物園で開催された「PANTHEON—神々の饗宴—」において初公開された。

二本松市で開催された「福島ビエンナーレ2016」で展示された。

ほか多数

出典：「SHIP'S CAT THE SCULPTURE OF KENJI YANOBE」

※ディスプレイで紹介する動画を提供しますので、ご希望の方は担当へお知らせください。

担当：こむこむ館 総務管理係 館長 寺内、係長 古川 電話 024-524-3131（直通）
--